

比較憲法班研究計画報告

江 藤 价 泰

(法 学 部 教 授)

越 路 正 巳

(法 学 部 教 授)

菟 原 明

(法 学 部 助 教 授)

I これまでの活動経過

比較憲法班においては、具体的な研究テーマをもってこれまで活動してきたわけではなく、班所属の各教員がそれぞれに、関連図書を整備するという方向で動いてきた。従って、その意味では、当然に具体的な何等かの研究成果の目的意識的達成をめざしてはいなかった。

II 今後の(1991年度)活動計画

今後も、従来同様の構成メンバー班が編成されると予想されるが、目下のところ具体的な研究テーマをもって、何等かの研究成果を達成すべく活動を行って行くという計画は検討されてはいない。というのも、来春以降、メンバーの一人である越路教授の留学も予定されており、実質的に活動し得る状態にないといえよう。更に困難な点は、本班に限定されないことかもしれないが、具体的に活動し得るには、(1)物理的制約が多い、(2)とりわけ比較憲法班に限って言えば、各構成メンバーの問題関心に統一性がないことから、統一テーマをもって活動することは極めて困難である、ということである。したがって、今後の活動も、各メンバーが、各々自己の関心にしたがって基本研究図書を整備して行く中で、共通する領域を探し求めるところから始まることかと思われる。 (菟原 明)